

地域安全学会

2013年度第6回理事会 議事録

日 時：2014年1月25日（土） 14：15～17：00

場 所：同志社大学東京オフィス（千代田区大手町2丁目6番2号 日本ビルヂング5階）

出席者：宮野道雄、立木茂雄、糸井川栄一、池田浩敬、岡田成幸、大西一嘉、柄谷友香、重川希志
依、庄司学、田中聡、能島暢呂、村尾修、矢代晴実、山崎文雄

委任状：市古太郎、岩田孝仁、大原美保、清野純史、越村俊一、佐土原聡、牧紀男、松岡昌志、村上ひとみ、目黒公郎、森伸一郎

欠 席：加藤孝明

事務局：竹本加良子、上木美貴恵

配布資料：25-6-1 2013年度第6回理事会議事次第（宮野）
25-6-2 2013年度第5回理事会議事録案（寺島）
25-6-3(1) 2014年度地域安全学会役員選挙の経過報告について（能島）
25-6-3(2) 2014年度地域安全学会役員選挙候補者名簿（案）（宮野）
25-6-4 学術委員会報告（田中）
25-6-5 ニュースレターNo.86の内容と担当者について（柄谷）
25-6-6 2014年度地域安全学会春季大会の開催について（市古・岡田）
25-6-7 安全工学シンポジウム2014（矢代）
25-6-8 2014年度総会資料（案）（宮野）
25-6-9(1) 地域安全学会 会員数・会費納入状況/会費支払い催促状況（上木）
25-6-9(2) 事業別損益計算書（竹本）
25-6-10 第33回地域安全学会研究発表会（秋季）における「優秀発表賞」診査結果の報告（大西）

議題：

1. 前回議事録の確認（宮野：資料25-6-2）

一部、誤字を訂正。

監事を定員の3名に増強するかどうかは、来年度以降の理事会で検討する。

2. 会勢・会員管理関係（竹本、上木）

2-1. 会費未納者の状況報告（上木：資料25-6-9(1)）

H26/1/24(金)時点での会員数・会費納入状況は以下の通りである。

	学生会員	正会員	総数
会員数	85	569	654

	学生会員	正会員	総数
H25年度会費 納入者	47	443	490
H25年度会費 未納入者	38	126	164

	学生会員	正会員	総数
H24年度会費 納入者	41	482	523
H24年度会費 未納入者	20	46	66

H26/1/24(金)時点での会費支払い催促状況は以下の通りである。

	学生会員	正会員	総数
催促した人数	43	154	197
催促後支払った人数	3	23	26

H25/12/26(水)に、平成25年度会費未納者197人全員へ振込み催促を連絡。メール連絡：168人、郵送連絡：29人。

振込用紙の送付は、経費削減のため、従来通り、総会の案内と一緒に郵送する。その際に、会員番号をお知らせし、会費の振り込み時に、会員番号も入力して頂く。

事務局は、2年間会費未納入者(除籍対象者)のリストを作成し、次回の理事会または総会の時に提出する。

2-2. 決算の集計方法について(竹本：資料25-6-9(2))

事務局より、H25/12/31(火)時点の残高試算表が提出された。

【事業別損益計算書】の[東日本大震災連続ワークショップ]の費用については、[学術]-[論文集販売代金]には計上せず、[東日本大震災連続ワークショップ]の[論文集販売代金]として掲載する。

企画研究小委員会及び担当理事に今年度使った費用を報告する必要がある。

【事業別損益計算書】の[国際交流]-[その他]について、「第3回 国際都市防災会議のプレカンファレンスのための若手渡航費 EERI から」を決算書の注記に追記する。ほかの項目についても、誰が見ても内容が分かるように注意する。

次回の理事会では、来年度の会費を上げるかどうか検討し、作成した案を総会で報告する。事務局は、次回理事会での検討用に、残高試算表の最新版を作成し、提出する。

3. 選挙管理委員会関係(能島・宮野)

3-1. 2014年度地域安全学会役員選挙について(能島：資料25-6-3(1))

佐土原先生から退任の意向の連絡を受けたため、改選対象者は12名、新規は4名となる。

3-2. 2014年度地域安全学会役員選挙候補者(案)(宮野：資料25-6-3(2))

理事会から推薦する新規4名の候補は次の通り。

- ・ 鋤田先生：女性理事を増やすため(推薦文担当：大西先生)
- ・ 西川先生：国際交流の観点から(推薦文担当：立木先生)
- ・ 秦先生：学術委員会向けの人材育成として(推薦文担当：田中先生)
- ・ 梅本先生：若手の理事の育成のため(推薦文担当：糸井川先生)

各新規候補者には推薦の内諾を得ておく。

また、担当理事は、2月10日頃発行予定のニューズレターに向け、推薦文の作成を行い、能島先生、宮野先生に提出する。

役員選挙規定の変更について、選挙管理委員長・副委員長を「推薦する」を「指名する」に修正し、次回の総会で承認を得る。

4. 学術委員会関係（田中：資料 25-6-2）

電子ジャーナル（No. 22）は1編辞退、1編未提出のため、8編が通過した。

電子ジャーナル（No. 23）への投稿論文数は、10編。現在、一次審査中。

論文賞は該当なし。

年間優秀論文賞には、「東日本大震災における被災自治体の人的資源運用に関する分析—宮城県石巻市を対象にして—」佐藤翔輔（東北大学）氏を推薦する。

奨励賞は、「災害時自治体間援助の全国的実態とその特徴—東日本大震災を対象に—」山口裕敏（筑波大学大学院システム情報工学研究科）氏、「道路網 GIS データに基づく上水道管路の分布推定」小林朋美（東京ガス株式会社）氏の2名が受賞。

学術委員の交代について、都合により鍛田先生から千葉大学の丸山先生に交代となった。

電子ジャーナルについて、2本が並行して稼働しているため、どちらに投稿された論文か判断が難しいこと、投稿される論文がそれほど多くないことなどから、このまま続行するかどうか検討する必要がある。ただし、新規での投稿もあるため、新規会員の確保には有効であるとも考えられる。来年度以降続けるかどうかは、学術委員会で検討する。

5. 表彰委員会関係（大西：資料 25-6-10）

優秀発表賞の受賞者に対して、翌年の総会で表彰することになっていたが、その時期には卒業したり、帰国したりしてしまうこと、大学への報告のために必要とのことで、賞状を郵送した。

受賞した学生にとっては、奨学金の免除にもつながる。そのため、懇親会の席で受賞者に発表して頂いた日を受賞日として、期間を置かずに、受賞者に賞状を郵送することとする。賞状は後日郵送とするため、会場にプリンターを持ち込んでの賞状の印刷はしない。

技術賞については、5編の応募があった。3月下旬に受賞候補の論文を決定し、次の理事会で決定した論文候補を発表する。

6. 広報委員会関係（柄谷・庄司：資料 25-6-5）

ニューズレターについて、2月17日の発行に向けて作業を進める。

理事会資料のHPへのアップロードについて、ルール案を庄司先生が作成し、事務的に問題ないか事務局に確認する。最終的に次回の理事会でルール案を確認する。

また、HPの更新が滞っている箇所を庄司先生が確認し、委員会の担当理事に更新するよう連絡する。

会員が意見を書き込み、委員会が回答する掲示板のような仕組みをHPに組み込めないか検討する。悪意のある書き込みなどを防ぐため、会員は、会員IDと会員氏名で認証させる、などの仕組みが必要である。引き続き検討する。

7. 2014年度総会・春季研究発表会（岡田：資料 25-6-6）

開催日時は、5/16（金）・5/17（土）か、5/17（土）・5/18（日）のどちらかとする。

会場は兵庫県立大学防災教育センター（人と防災未来センターの東館4階）の大教室（100人規模）と中教室（40人規模）、人と防災未来センターの会議室の3教室で実施する。

実行委員は、浦川先生、馬場先生、阪本さんの3名を承認した。

スケジュールについて、1日目の発表の開始時間を13時からに変更する。総会後の表彰式に合わせて、技術賞が決まれば、発表をしてもらう。

懇親会会場は、実行委員に一任する。

2日目のセッションは、テーマ1「復興街づくり」、テーマ2「BCP」、テーマ3は「被災地応援」とする。

実行委員を通じて、兵庫県に現地見学会の内容を組んでもらう。

8. 安全工学シンポジウムについて（矢代：資料25-6-7）

地域安全学会としての参加要請等は特に連絡がない。安全工学シンポジウムから各団体への声かけはこれからのため、何か連絡があれば理事会にて報告する。

9. 研究小委員会の募集（柄谷：資料なし）

研究小委員会の新委員への応募はなかった。研究小委員会は現在3つあり、そのうちの2つが継続となるため、今後、継続募集は行わないことを決定した。

10. 2014年度総会資料（案）について（宮野：資料25-6-8）

日時、場所は、2014年度春季研究発表会による。

当日の議題は以下の通り。

- ・議長および議事録署名人の選出
- ・2013年度の事業報告
- ・決算の審議
- ・来年度の役員の改選結果の審議
- ・来年度の事業計画の審議
- ・来年度の予算の審議

議題の最後に、「役員選挙規程の改訂」を追加する。

総会後の年間優秀論文賞および論文奨励賞の授与に、技術賞の授与を追加する。

黒字は担当理事が各担当部分の内容を確認する。赤字は未確定箇所のため、宮野先生が個別に確認・修正を行い、次回の理事会で報告する。赤字の修正ができた段階で、全理事に一度送り、内容の確認を依頼する。

理事会の開催について、4月（総会の前まで）の理事会は不要として、全6回の日程案を宮野先生が作成し、次回の理事会で提案する。

11. 国際交流について（立木：資料なし）

ICDRの3回目は、9/28にレセプションがあり、会議は9/29～10/1に開催日程が変更になった。

今回もICDRから渡航費が出ることが予想されるため、アブストラクトまたは論文の審査を経て、若手研究者の助成に使うことを考えている。

仙台会議の際に何かできないか、西川氏にご相談し、国連の災害系の中核に関わっておられる視点からご助言いただく。

12. 東日本ワークショップ（宮野：資料なし）

開催場所は田老町とする。

開催日は、下記の案の期間のうち、2日ないし3日間とする。

- 第1案：10月17～19日
- 第2案：10月24～26日
- 第3案：7月18～20日
- 第4案：8月1～3日

上記案を元に宮古市の都合を確認し、日程を決める。

13. その他

1) 防災学協会連合組織（宮野：資料なし）

日本学術会議主催のシンポジウムが12月2日に開催された。『南海トラフ地震に学会はいかに向き合うか』がシンポジウム全体のテーマであった。テーマ2『発災時の対応と備え』の中で地域安全学会として報告した。報告内容は下記の通り。

- 東日本大震災に関する宮野先生自身の調査事項
- 地域安全学会での南海トラフ地震に関する活動（秋季大会の静岡県開催、春季大会の和歌山県田辺市・愛媛県愛南町等での開催）
- 東日本大震災連続ワークショップでの南海トラフ型地震への取り組み 等

2) 同志社大学の東京オフィスについて

2月より、同志社大学の東京オフィスの場所が移動になる。八重洲ブックセンターの裏手の京橋イーストビルの3階に移動になる。

○ 次回理事会 3/22（土）15:00～18:00（学術委員会 10:00-14:00、表彰委員会 14:00-15:00）

出席代表理事

宮野 道雄



監 事

山崎 文雄

